医学英語入門
（Basics of English in Medicine）

【責任者/担当者】
〔英　　語〕古瀬　明里　教授

【担当者】
〔英　　語〕丹治　美那子　助教、牧　木綿子　非常勤講師
〔生理学　生体機能部門〕中村　望　助教

【目的】
大学で学ぶために必要なアカデミックスキルの向上を目指し、様々な医療テーマに関する英文を読みながら、医学英語の習得、全般的な語彙力の向上、英文を読む速度と理解力の向上など実用的な英語の力をさらに伸ばすことを目標とする。

【科目キーワード】
「アカデミックスキル（academic skills）」「医学英語（English in Medicine）」

【到達目標（アウトカム）】
□ 医療に関する語彙と会話表現を増やし、活用できる。
□ 読解学修で、様々な医療トピックの英文を読んで、アカデミック英語（語彙力、読む速度、読解力）を向上させ、活用できる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】
・英文診断書を理解し、英語で最低限の診察ができる。国際論文の内容が理解できる。英語での会話ができる。
・適切な医療コミュニケーションを実践できる。
・諸外国の医療に興味を持ち、多様な人々と交流できる。
・自学自習の態度を身につけ、能動的な学修ができる。
・エビデンスと臨床推論の重要性について理解している。
・患者の病の解釈、感情、期待、問題点を認識できる。

【概要ならびに履修方法】
・演習科目であるため、原則全出席が必須条件。正当な理由のない欠席は認めない。やむを得ず欠席する場合は、必ず事前に科目責任者に連絡すること。
・出席管理は各担当教員がそれぞれの時間（読解ならびに医療英語）に行う。授業開始 25 分以内の入室は遅刻とみなす。それ以降の入室は欠席、また遅刻 3 回は欠席 1 回とみなすので十分注意すること。

・詳しい講義内容、成績評価に関するシラバスは初回の講義時に配布する。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

テキスト課題、レポート課題、小テストのための予習復習をすること（毎回講義前後 1、2 時間程度）。

【成績の評価方法・基準】

定期試験 60%、講義への積極的参加 20%、小テストおよび提出物 20%。

【学生への助言】

本授業は基本的にアクティブラーニング形式で行う。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど、積極的な受講態度で取り組むこと。それぞれの専門分野に活かせるように、実践的な英語の読解力、表現力を向上させていきましょう。

【フィードバック方針】

小テスト、レポートは評価（とコメント）を添えて返却する。定期試験実施後、希望者には解説講義を行う。

【オフィスアワー】

曜日：月曜日～金曜日　時間帯：11：40～12：40

【受講のルール、注意事項、その他】

・テキストは必ず各自持参すること。また教科書を忘れた場合、減点対象となるので留意すること。
・教員の許可なく講義内容を撮影、録音することは慎むこと。

【教科書】

「総合英語 医療従事者として最も大切なこと What Matters Most?—Stories that tell the heart of being a medical professional」Douglas Paauw 著(三修社）2019 年
「これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現（第 4 版）」藤枝宏壽、他 編著（メジカルビュー社）2021 年
※全クラス共通。
随時プリント配布。

【参考書】

特になし

【連絡先】

教育研究棟 5 階 英語 教員室・研究室